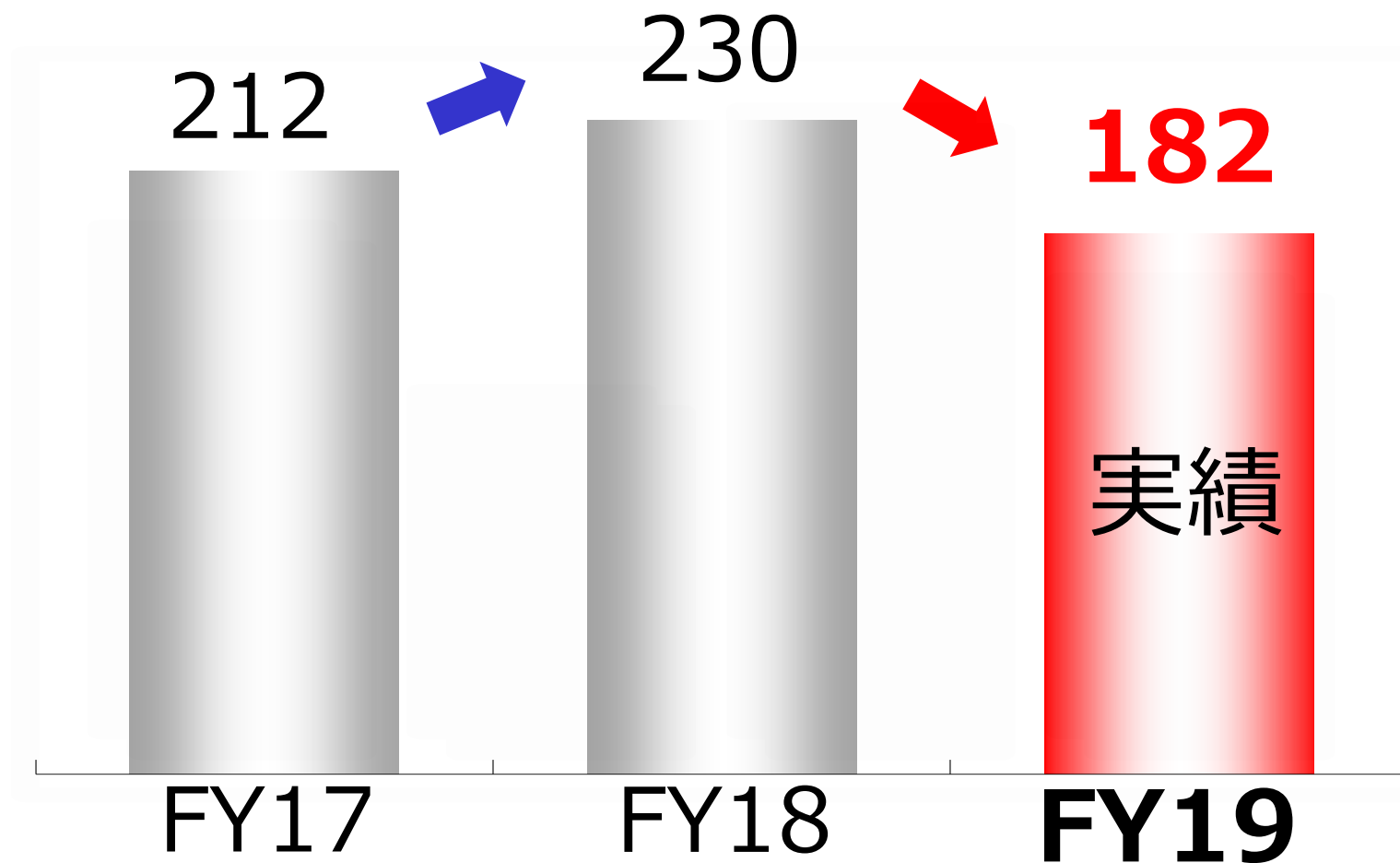


# 2019年度の活動

# 2019年度振り返り

## 生産台数 年度実績 (千台)



# 2019年度振り返り

## 生産体制

### 日産車体九州

### 湘南



2班2交替勤務に変更  
(2019.6月～)



補完生産累計台数21,883台

アルマーダ補完生産終了  
(～2020.1月)

# 再発防止策14項目93アイテムの全て、 実行フェーズ移行を完了

最適な完成検査ライン構築完了（電子化スタート）



タブレット端末



大型モニター

2019年度振り返り

# 商品の競争力

## 新型車 中東向けパトロール マイナーチェンジ

外観変更と新ナビゲーションシステムなどを採用



2画面(8+7インチ)

2019年度振り返り

# 商品の競争力

## 新型車

### NV200 国内 マイナーチェンジ

歩行者も検知する衝突被害軽減ブレーキ等を採用  
⇒日産車体の国内車が全て「サポカー補助金」対象

#### HBA (ハイビームアシスト)



#### FEB (エマージェンシーブレーキ)



#### TSR (交通標識検知)

車両進入禁止標識

一時停止標識

最高速度標識



#### LDW (車線逸脱警報)



# 2020年度取り組み

## 2017-2022 中期経営計画

### 【基本方針】

LCV・Frame車を技術力の核とし  
高品質で魅力ある商品をお客様にお届けすることで  
将来にわたる強靱な企業基盤を確立する

### 【全社中期目標】

商品の競争力

魅力ある商品による生産台数と売上の拡大

工場の競争力

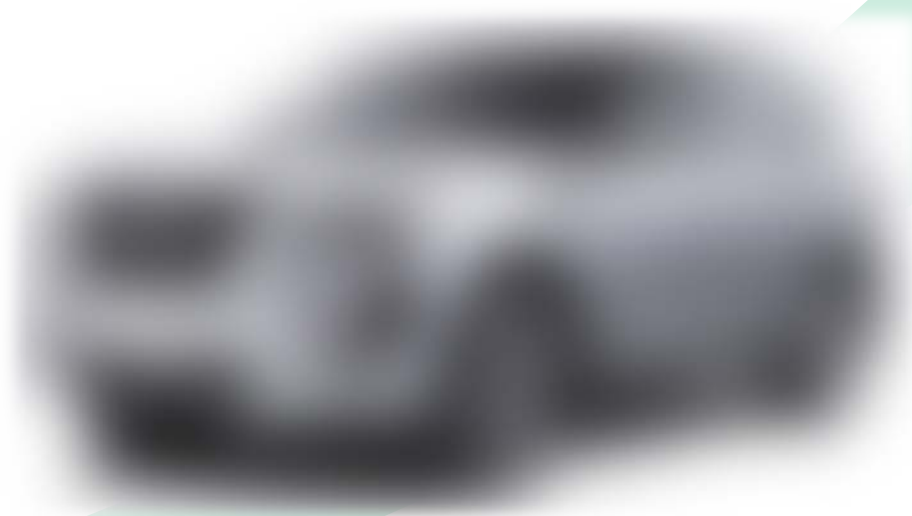
品質No.1, お客様から信頼される工場

技術・技能の競争力

LCV・Frame車ものづくりグローバル技術拠点の実現

すべての活動を支える基盤

## 今年度の新型車イベント



経済活動の再開と共に、販売台数巻き返しを図る



# 2020年度取り組み

## 2017-2022 中期経営計画

### 【基本方針】

LCV・Frame車を技術力の核とし  
高品質で魅力ある商品をお客様にお届けすることで  
将来にわたる強靱な企業基盤を確立する

### 【全社中期目標】

商品の競争力

魅力ある商品による生産台数と売上の拡大

工場の競争力

品質No.1, お客様から信頼される工場

技術・技能の競争力

LCV・Frame車ものづくりグローバル技術拠点の実現

すべての活動を支える基盤

## 日産圏 品質トップレベルの維持

<国内市場の初期品質>



	FY12	FY13	FY14	FY15	FY16	FY17	FY18	FY19
1位								
2位					ノート			
3位			キューブ	ノート	キューブ		ノート	

2020年度取り組み

# 工場の競争力

湘南工場 & 日産車体九州

- ・北米市場品質No.1
- ・品質重点課題改善活動

品質

- ・設備総合効率向上

コスト

スピード

- ・固定費適正化
- ・最適な人員計画

工場の競争力強化に継続して取り組む

# 2020年度取り組み

## 2017-2022 中期経営計画

### 【基本方針】

LCV・Frame車を技術力の核とし  
高品質で魅力ある商品をお客様にお届けすることで  
将来にわたる強靱な企業基盤を確立する

### 【全社中期目標】

商品の競争力

魅力ある商品による生産台数と売上の拡大

工場の競争力

品質No.1, お客様から信頼される工場

技術・技能の競争力

LCV・Frame車ものづくりグローバル技術拠点の実現

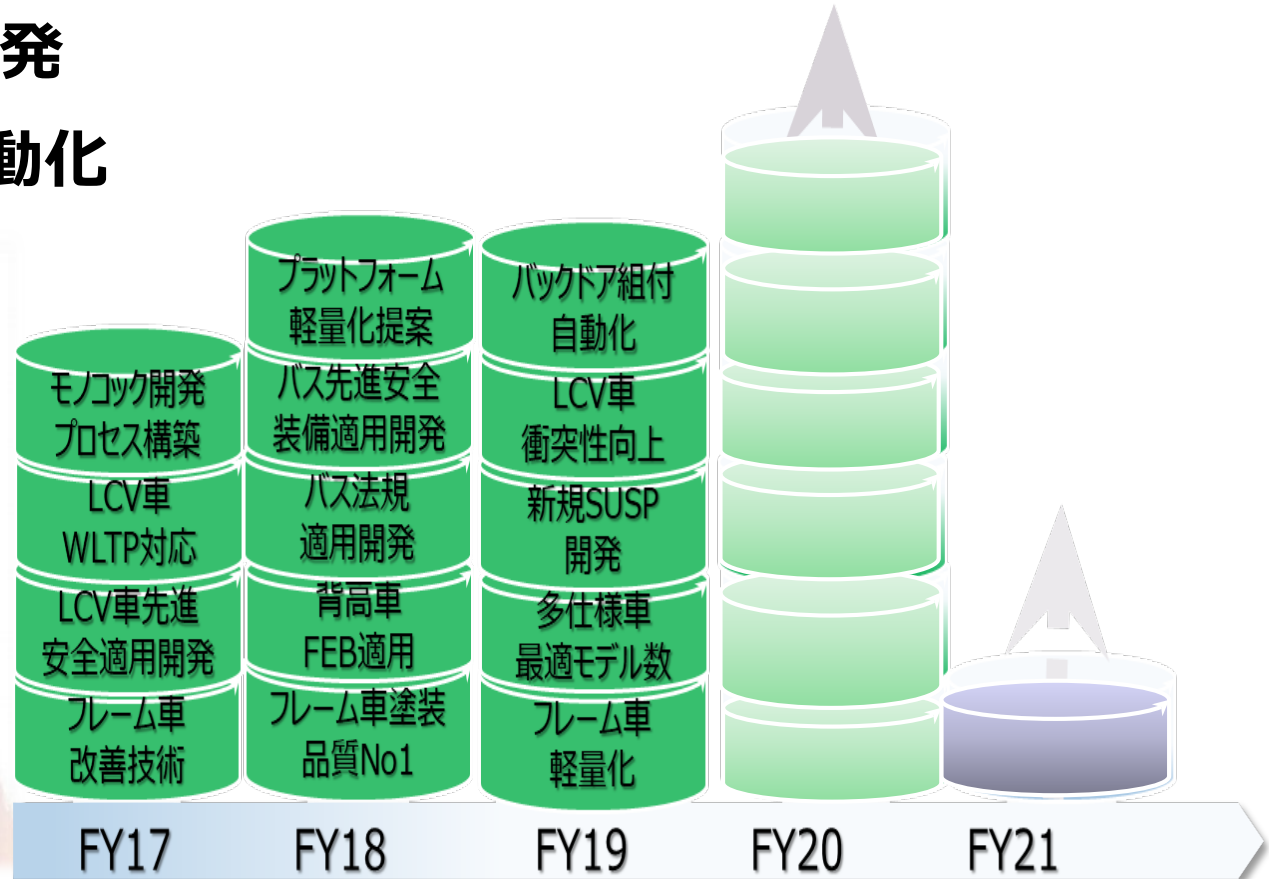
すべての活動を支える基盤

# 2020年度取り組み 技術・技能の競争力

オフロード走破性向上

新フレーム構造開発

バックドア組付自動化



更なる先進安全技術適用、SUV走破性向上、等に取り組む

# 2020年度取り組み

## 2017-2022 中期経営計画

### 【基本方針】

LCV・Frame車を技術力の核とし  
高品質で魅力ある商品をお客様にお届けすることで  
将来にわたる強靱な企業基盤を確立する

### 【全社中期目標】

商品の競争力

魅力ある商品による生産台数と売上の拡大

工場の競争力

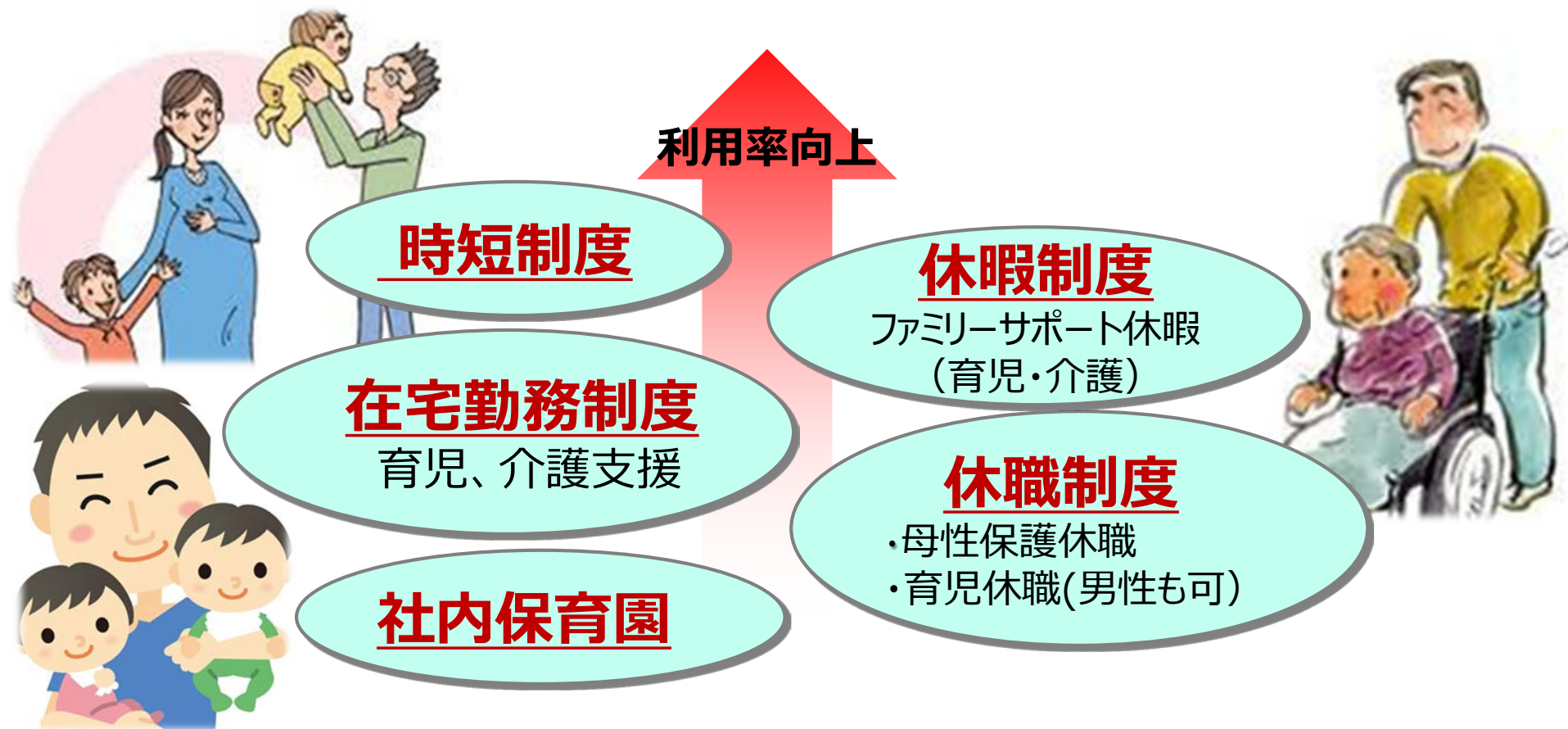
品質No.1, お客様から信頼される工場

技術・技能の競争力

LCV・Frame車ものづくりグローバル技術拠点の実現

**すべての活動を支える基盤**

**ダイバーシティの促進** 「誰もが働きやすい職場の実現」

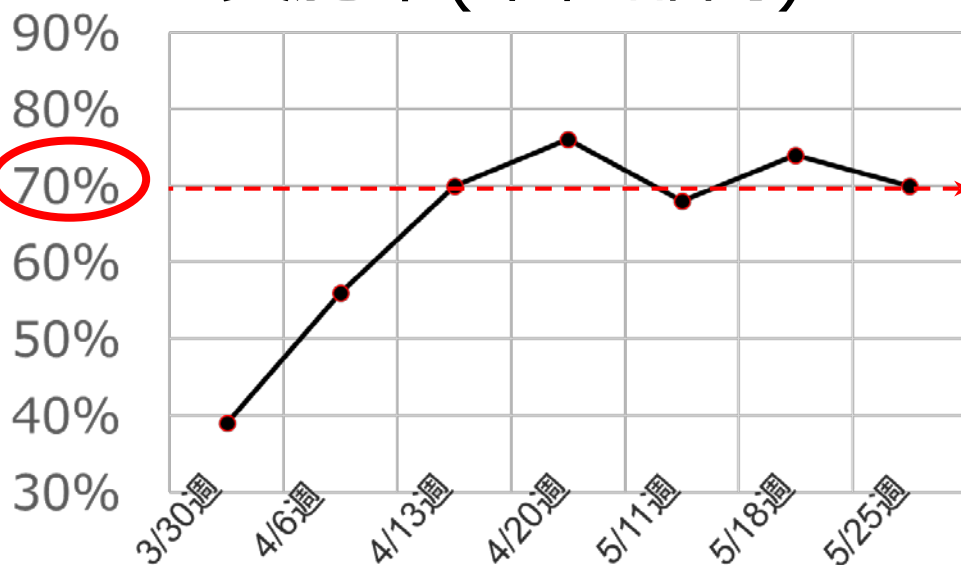


**各種制度を利用しやすい環境づくり**

## 在宅勤務の拡大・継続



<実施率(本社部門)>



- ・実施率70%達成を継続
- ・収束後も取り組み継続し、働き方改革に繋げる



# 新型コロナウイルス感染拡大に伴う支援活動 1

## 医療現場支援として、以下活動を実施

- 1)フェイスシールドを社内製作し提供（神奈川県；1000個 平塚市；490個）
- 2)フェイスシールド構成部品を3Dプリンターで製作（日産他社と共同;660個/週）
- 3)防塵マスクを寄贈（1,365枚、車体工業会経由）
- 4)軽症者搬送用にNV350を架装し提供



フェイスシールドを平塚市へ寄贈

製作現場

3Dプリンター活用



軽症者搬送用架装車  
(NV350)

# 新型コロナウイルス感染拡大に伴う支援活動 2

## 医療現場支援として、以下活動を実施

5)医療従事者向け「ガウン」を製作（神奈川県：2500枚、福岡県：5000枚）



医療従事者用ガウン



シート裁断



溶着

# 事業所内のコロナウイルス感染予防対策

## 国、経団連の感染予防 指導要領を順守

- 1) 検温 (毎朝)
- 2) マスク着用 ※自給を目指し社内製作
- 3) 手洗い (7回以上/日)
- 4) 殺菌消毒
- 5) 換気
- 6) 在宅勤務拡大 (本社部門)
- 7) 3密回避(リモート会議、時差出勤等)
- 8) 飛沫感染防止パーテーション設置



2)自給用マスク製作

8)飛沫防止パーテーション



事務所



食堂

